

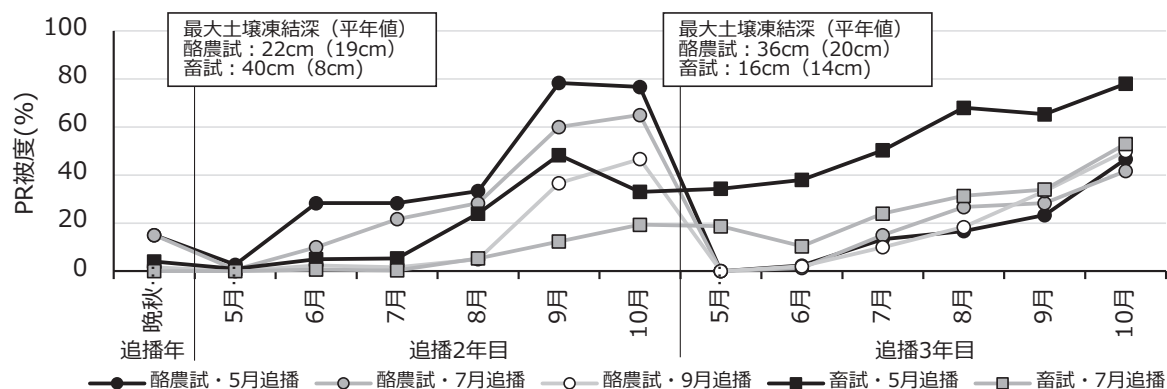


図1. PRを異なる時期に追播した草地におけるPR被度の推移
(播種量：2.0kg/10a、2018年追播)
(追播年晩秋の被度調査日：酪農試11月7日、畜試10月25日)

表1. 根刈および十勝地域におけるPR追播後の乾物収量と乾物中PR割合の推移(2018年追播)¹⁾

地域	追播時期	播種量(kg/10a)	乾物収量(kg/10a) ²⁾								乾物中PR割合(%) ³⁾					
			2019年				2020年				2019年			2020年		
			春	夏	秋	合計	春	夏	秋	合計	春	夏	秋	春	夏	秋
酪農試	無追播	-	206	250	132	588	217	242	106	565	-	-	-	-	-	-
	5月	2.0	158	279	180 [†]	618	120 [*]	228	150 [*]	498 [†]	16 ^a	40 ^a	60	1	12	37
	7月	2.0	188	254	190 [*]	632	123 [*]	245	129	497 [†]	6 ^b	32 ^{ab}	56	1	8	41
	9月	2.0	198	270	172	640	163 [*]	232	155 [*]	550	0 ^b	8 ^b	39	2	15	44
	5月	1.0	183	261	166	611	131	227	130	489	13	30	61	0	4	37
畜試	無追播	-	-	-	76	-	119	217	80	416	-	-	-	-	-	-
	5月	2.0	-	-	164 [*]	-	136	246	95	477	-	-	38 ^a	38	46	74
	7月	2.0	-	-	98	-	143	277	124 [*]	543 [†]	-	-	15 ^b	19	48	72

1)春：5・6月、夏：7・8月、秋：9・10月の合計。2)Dunnettの検定により、無追播の処理と比較して5%水準で有意差がある場合は*、10%水準で傾向がある場合は†を付した。3)酪農試は各季節に1回、畜試は刈取毎に調査、ab異文字間に有意差有り(p<0.05、酪農試：TukeyのHSD検定、畜試：Studentのt検定)。

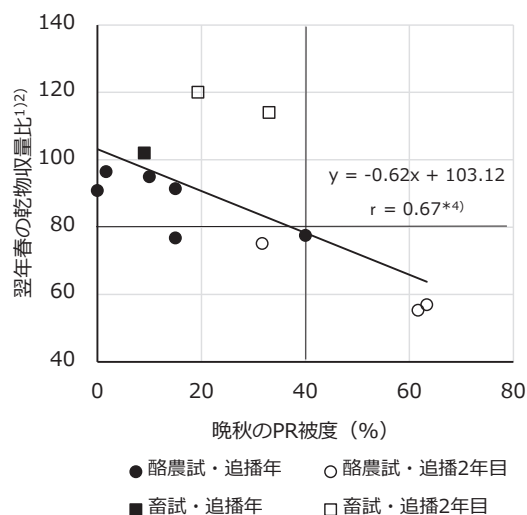


図2. 晩秋のPR被度と翌年春の乾物収量比の関係³⁾
1)春：5・6月の合計。2)翌年春の乾物収量比は無追播を100とした指数。3)2018年および2019年追播草地。4)*：p<0.05。

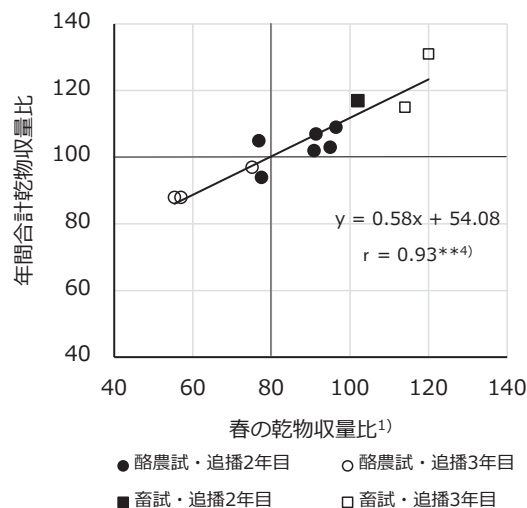


図3. 春の乾物収量比と年間合計乾物収量比の関係^{2) 3)}
1)春：5・6月の合計。2)乾物収量比は無追播を100とした指数。3)2018年および2019年追播草地。4)**：p<0.01。

詳しい内容については、次にお問い合わせ下さい。
道総研酪農試験場 草地研究部 飼料生産技術グループ 角谷芳樹
電話 0153-72-2004 FAX 0153-73-5329
E-mail sumiya-yoshiki@hro.or.jp